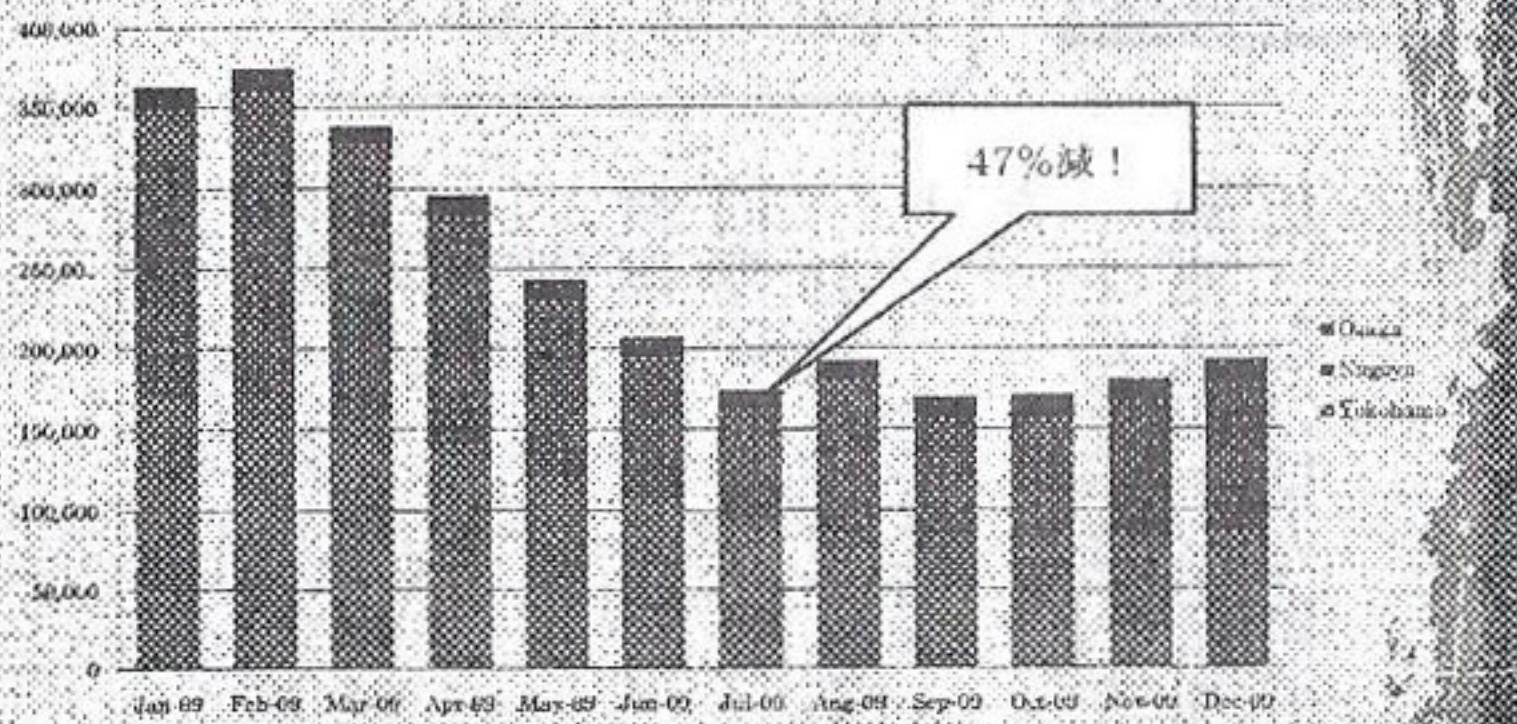


09年7月統計史上初20万t割れ！

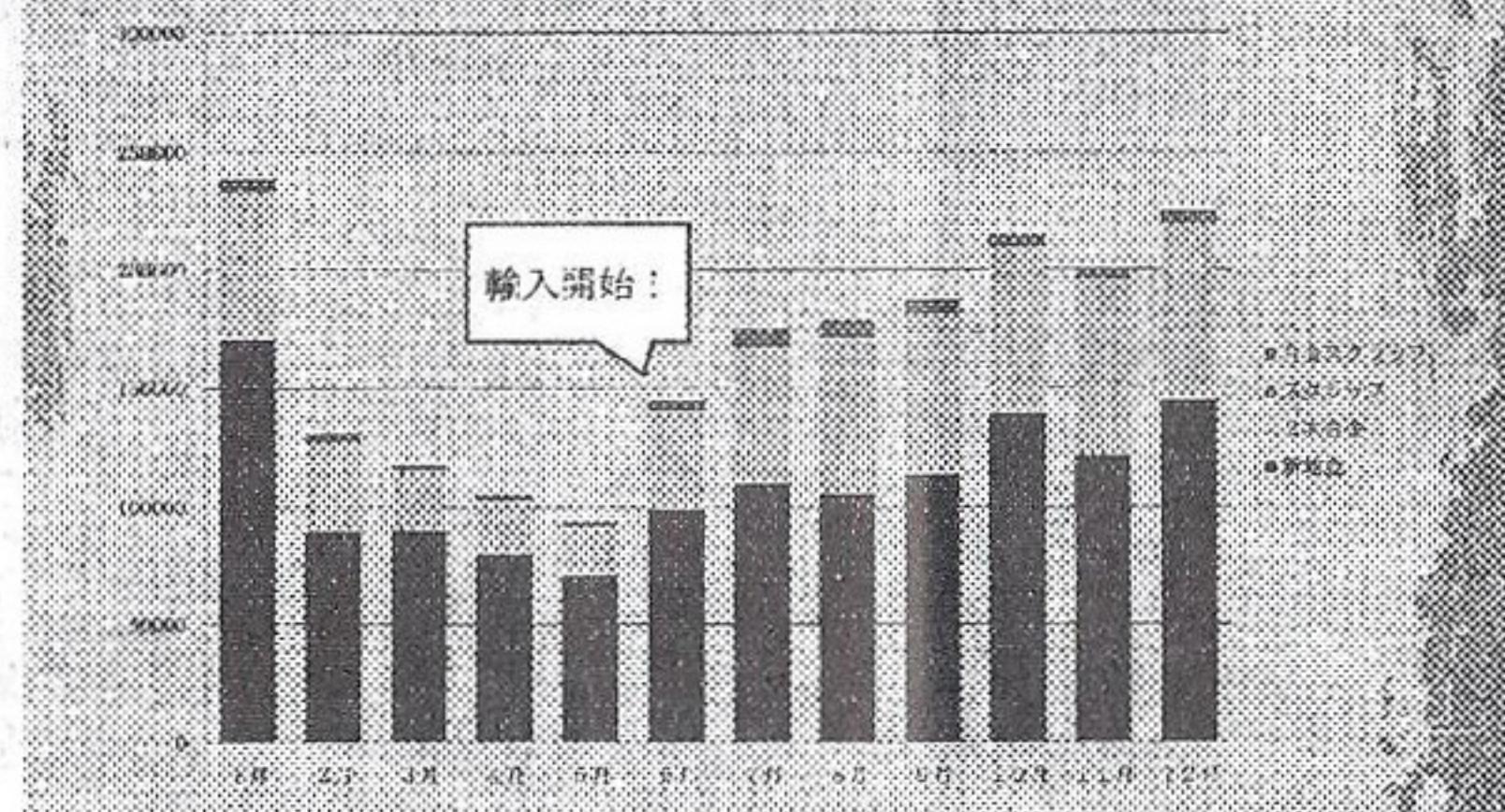
09年アルミ新地金港湾在庫



47%減！

国内在庫はどうなつていてるのだろうか？  
まずは新地金についてである。統計をはじめた二〇〇〇年以降二〇万トンを切ったことがない新地金港湾在庫だが、ついに統計史上初の二〇万トン割れが起こり、年初在庫から約四七%減と大幅減少した。

09年アルミ輸入推移



輸入開始！

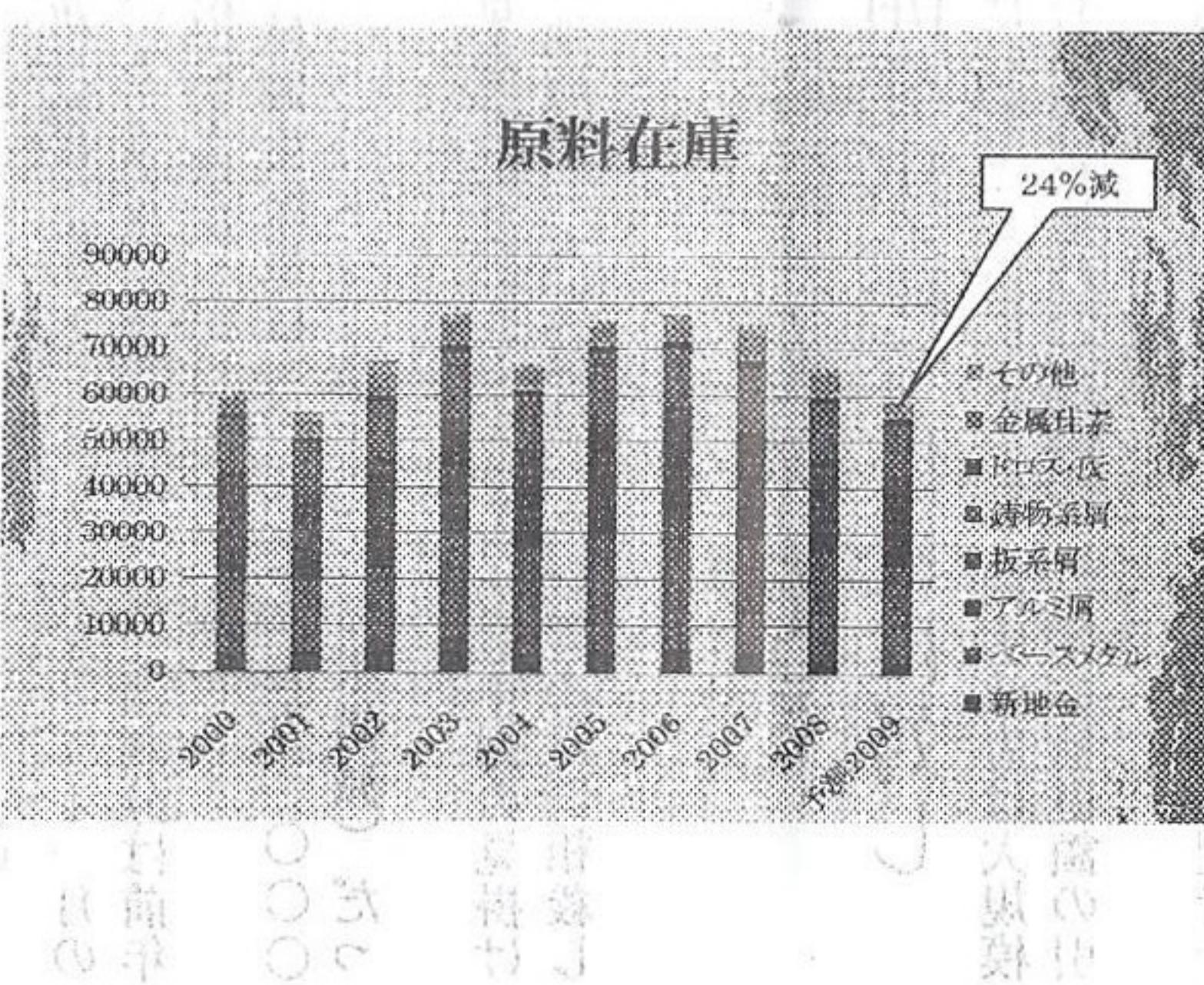
### 郎橋本健一 アルミ原料逼迫の可能性③

次に貿易指標を見ていくことにするが、○九年前半の自動車生産の減少から、生産を控え原料を輸出した国内マーケットは後半一転して輸入を開始する。

つぎは製品在庫だが、ピークの〇七年から二七%減の二万五、六〇〇トンと大幅に減少している。

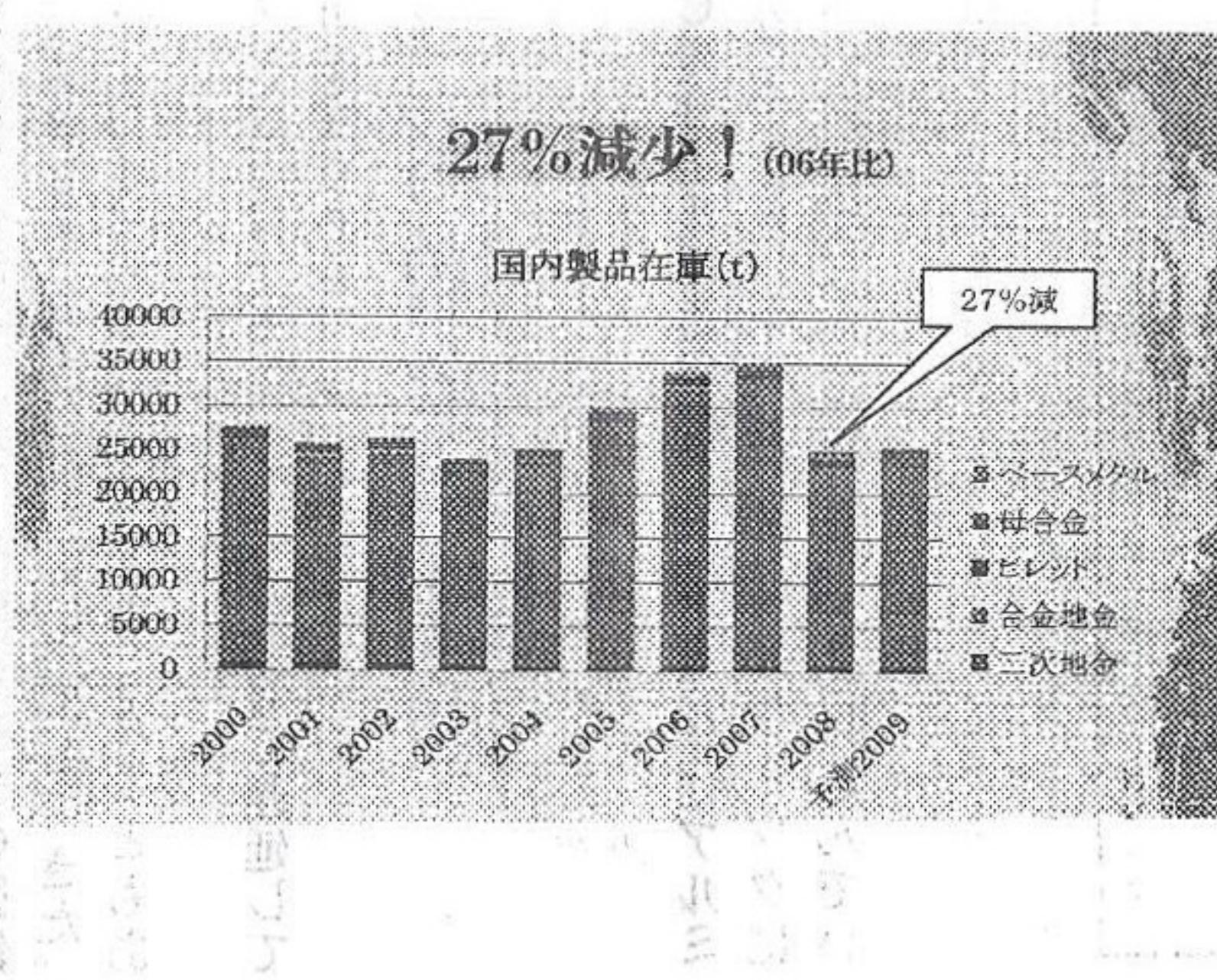
## ○九年後半から回復基調に

原料在庫



原料在庫に関してはピークから二四%減の五万八、九〇〇トンと大幅に減少している。

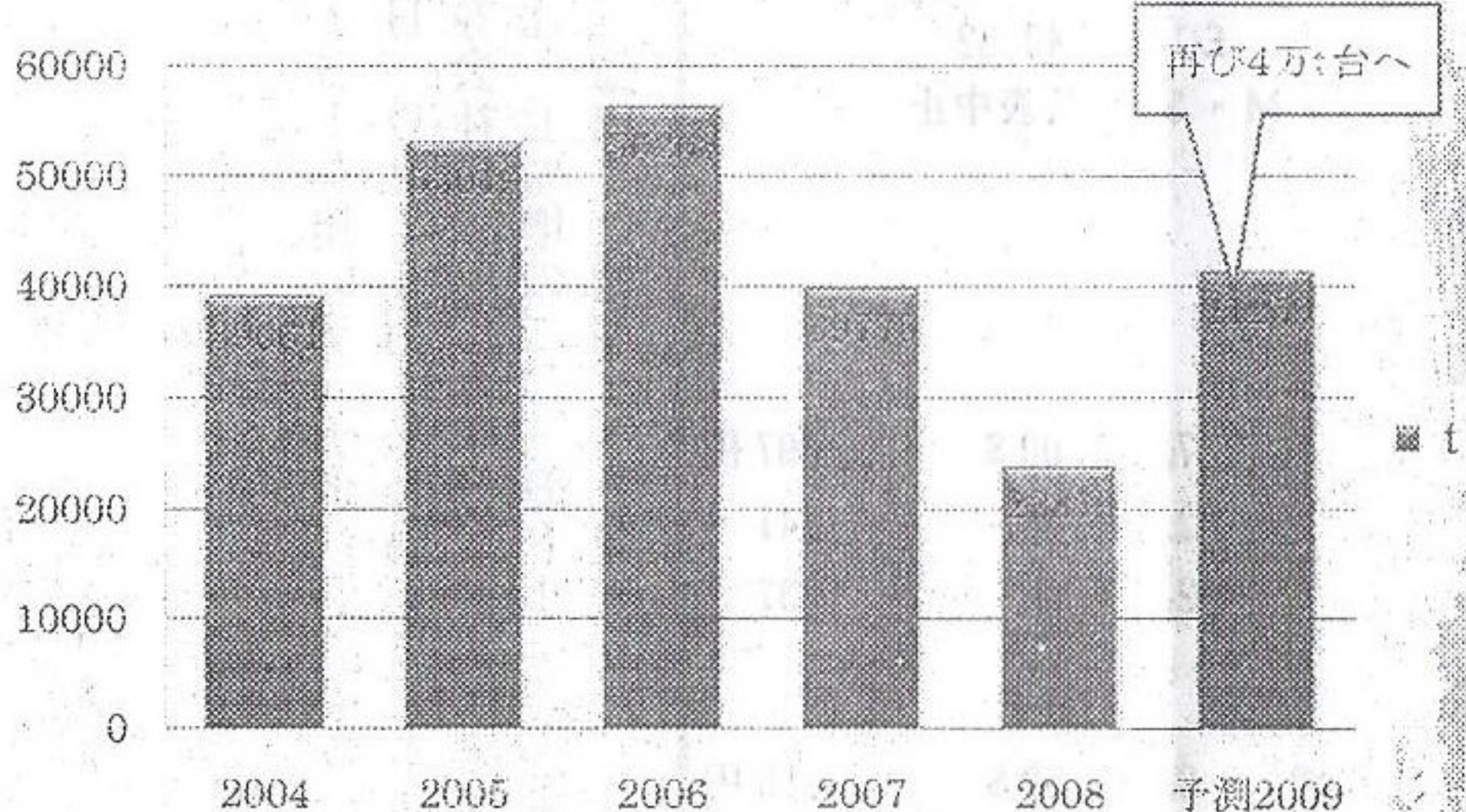
27%減少！(06年比)



27%減

では今後のアルミの展望についてであるが、ここでのポイントは次の三つである。  
① 製品のリサイクル原料比率は八割！  
② 中国はまだ原料不足  
③ 代替原料の輸入塊が急騰

## 中国の日本からの輸入量



にもかかわらず、中国への原料輸出は〇九年またもや四万トン台へと拡大した。

## 77%がリサイクル原料



(第二面より続く)  
〇九年前半、原料のほとんどを輸出にだしてしまった国内マーケットであるが、もう国内には原料需要はないのだろうか？日本製品の原料構成はその約八割をリサイクル原料に依存しており、今後もますます重要になるとみられる。

# 日本 製品 約八割をリサイクル原料に依存

## 中国アルミニスクラップの輸入拡大へ

### 中国アルミニスクラップの輸入拡大へ

中国の自動車生産台数も〇九年に米国を抜いて世界一となり、一〇年にはさらに記録を更新し、一、五〇〇万台との予測がなされている。そしてこれからも、旺盛な需要を前提とした中国はアルミニスクラップの輸入を拡大させていくと予測されている。

いままでリサイクル原料不足分を中国産ADCやロシアAK5m2で補つてきた日本だが、世界の工場から世界の市場となつた中国、今まで輸出に向けられていた中国産ADCも国内需要の拡大を受け、年初から急騰、またロシア産ベースメタル（AK5M2）も価格が上昇した。

以上のようなところから、二〇一〇年アルミニの展望は

①内需の回復及び在庫調整完了からの原料不足！

②輸入合金塊高騰による原料不足！

③中国の需要の拡大による国外流出！

といった可能性から、二〇一〇年のアルミニスクラップ需要は一転逼迫状態に陥ることも考えられる。

## 韓国アルミニ塊三千トン入札へ

韓国調達庁は二十二日、同庁ウェブサイトでアルミニ塊三、〇〇〇トンの入札を告知した。条件は、四月三十日までに出荷可能で、欧米産、受け渡し地が仁川港となっている。応札締め切りは三月三日の現地時間午後一時半。

銅 す 鉛 亜 鉛 アル ミ 二 次 合 金 ニ ッ ケ ル アル ミ 二 次 (N ASAA)	(2月23日入電分)			
	入庫	出庫	2月22日現在	増減
G A W	1,325	2,025	554,325	- 700
{ G A C	0	0	0	+ 0
ず	1,325	2,025	554,325	- 700
鉛	215	500	25,330	- 285
200	100	160,700	+ 100	
S H G	2,100	825	542,200	+ 1,275
アルミ	2,550	5,575	4,588,350	- 3,025
ニッケル	0	120	81,320	- 120
アルミ二次(NASAA)	516	1,812	161,178	- 1,296
	0	80	176,960	- 80

(単位:トン)